



2025年2月28日

各 位

上場会社名 株式会社 フェリシモ  
代表者 代表取締役社長 矢崎 和彦  
(コード番号 3396)  
問合せ先責任者 取締役 経営企画室長 宮本 孝一  
(TEL 078-325-5555)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年4月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2025年2月期通期連結業績予想数値の修正(2024年3月1日～2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,205	369	450	385	54.17
今回修正予想(B)	29,334	11	136	72	10.14
増減額(B-A)	△1,871	△358	△313	△313	
増減率(%)	△6.0	△96.8	△69.7	△81.3	
(ご参考)前期実績 (2024年2月期)	29,607	△931	△612	△858	△120.49

### 修正の理由

2025年2月期における当社グループの通期の業績見通しは、売上高が29,334百万円と前回発表予想を1,871百万円下回る見通しとなりました。当社では当連結会計年度を「黒字回復期」と位置付け、「顧客基盤の拡大」、「顧客との継続的な関係育成」、「第2の収益の柱の育成」の3点に注力してまいりました。

当連結会計年度は新たな事業領域の開発と育成に取り組み、神戸ポートタワーの運営をはじめ行政とのパートナーシップによる新規事業の立ち上げなど、更なる成長への基盤を築くことができました。また、中核事業である定期便事業におきましてはのべ顧客数は目標とする水準を下回る結果となったものの、当連結会計年度中に行った施策が奏功したことにより、下半期には新規顧客層の開拓及び継続顧客の定着率の改善などの具体的な効果が発現してまいりました。

費用面につきましては収益力の強化を図る取り組みを積極的に進めたことにより販管費効率が向上し、営業利益は11百万円と前期実績931百万円の営業損失から大幅に改善しましたが、売上高が目標とした水準を下回ったことにより前回発表予想を358百万円下回る見通しであります。また、経常利益につきましても136百万円と前回発表予想を313百万円下回る見通しであります。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益も72百万円と前回発表予想から313百万円減少する見通しであります。当連結会計年度に新規事業の立ち上げや中核事業における収益改善の兆しが見えてきたことを踏まえ、今後も持続的な成長に向けた施策を推進してまいります。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上